

新潟県女性センター情報

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして

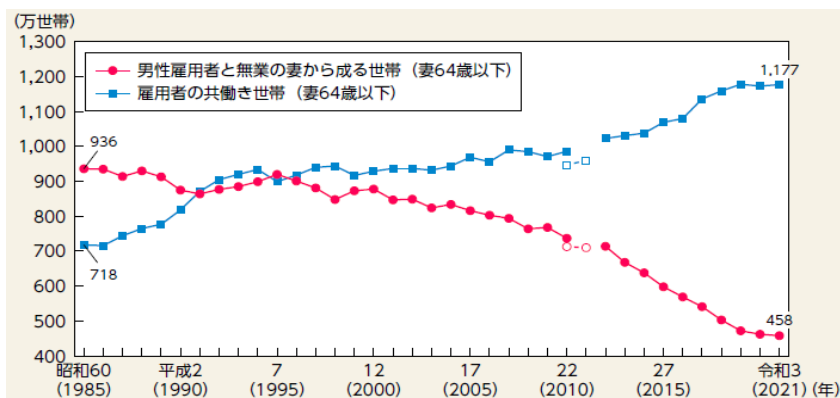
令和4年 男女共同参画白書(内閣府)

人生100年時代における結婚と家族 ～家族の姿の変化と課題にどう向き合うか～

共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移(妻が64歳以下の世帯)

令和4年の男女共同参画白書が公表されました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、特に女性の就業や生活に大きな影響を与えました。問題の背景には、家族の姿が変化しているにもかかわらず、働き方の慣行や人々の意識、社会制度など日本の男女共同参画が進んでいなかったことが改めて指摘されています。もう一度「ジェンダー平等」を考えるきっかけにしてみませんか。



◆ 家族の姿が変化し、人生も多様化

昭和の時代、多く見られた専業主婦は減少し、共働き世帯が全体の約7割を占めています。また、女性の単独世帯は、この40年で3.1倍(うち未婚は2.3倍)、男性の単独世帯は2.6倍(うち未婚は1.7倍)に増加するなど、人生の姿は多様化しています。

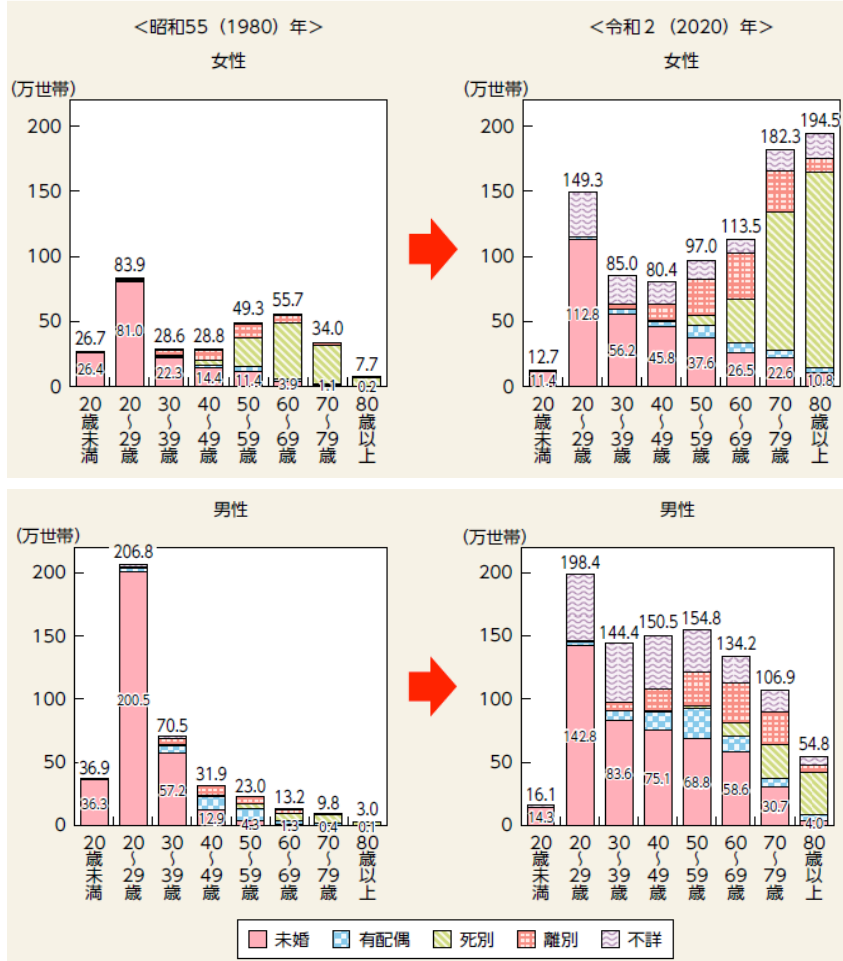
◆ 女性に厳しい所得格差

一方で単独世帯で所得300万円未満の世帯は、男性が3割程度なのに対し、女性は5割以上と割合が高くなっています。

◆ 人生100年時代の男女共同参画

人生が多様化するなか、女性の経済的自立、無償ケア労働(家事、育児、介護等)への配慮、世帯単位から個人単位の保障制度など、男女共同参画社会に向けた制度の見直しの必要性が指摘されています。

特-22図 単独世帯数(年齢階級別)



新潟県第4次男女共同参画計画 (男女平等推進プラン)が策定されました

令和4年3月に新潟県の「第4次男女共同参画計画」が策定されました。

新しい重点目標として、「**女性の県内定着、U・Iターンのための環境整備**」を加え、所得水準の向上や企業等における女性の働きやすさの向上を促進するほか、**困難を抱えた人々に対する支援や多様性を尊重する環境づくり**など、支援を必要とする人が誰一人取り残されることのない男女共同参画社会の実現を目指すこととされています。

また、新しい目標指標として県内上場企業役員に占める女性の割合10%、**男性の育児休業取得率30%**、自治会長に占める女性の割合6.7%などが示されました。計画期間は、令和4年度から8年度までの5年間です。



トピックス

にいがた女と男フェスティバル2022 開催しました！

6月18日から26日に、新潟ユニゾンプラザにて「にいがた女と男フェスティバル2022」を開催。基調講演会と県内活動団体によるワークショップに例年以上の多くの方々から参加いただきました。

◆基調講演会◆ 6月26日(日)

「アナウンサーパパが伝える

ワークライフバランスと女性活躍」

(講師) 笠井 信輔さん(フリーアナウンサー)

笠井さんは、立ち会い出産のために生放送の司会を休んだ男性アナウンサー第1号。自らの子育て体験などを踏まえ、男性がどのように子育てに関わっていくか、家庭での男女共同参画をどう進めるかといったお話しや、働き方を歯車にたとえ「自分でしかできない」という働き方の意識を変えていくことが大事とユーモアを交えながらメッセージを伝えていただきました。



講師の笠井信輔さん



会場の様子

今回は、**会場参加の他にオンライン**(Zoom ウェビナー)配信も行いました。また、佐渡市、糸魚川市など県内7市町村で**サテライト会場**が設営され、遠隔地のみなさまを含め、20~80代と幅広い世代から合計**約220人**の方々から参加していただきました。

参加者からは、「手伝いではなく、自分のことを自分でできるようにという言葉が響いた」

「人として生きる中で仕事と家庭を両立させることを考えさせられた」などの感想が寄せられました。

◆ワークショップも同時開催！◆



県内で活動する19団体がそれぞれの「想い」と「工夫」をこらして学習会やワークショップを開催し合計190人の方からご参加いただきました。

各ワークショップのテーマは、「子どもや女性の人権」「健康」「LGBT」「子育て」「アンコンシャス・バイアス」など多岐にわたり、参加者のみなさんは、多様なワークショップのなかで新しい気づきや学びに繋がっていたようです。初めて当財団のことを知る方もいて、一緒にフェスティバルを開催していくことを通じて、男女共同参画の「和・輪」を広げていくことができた実感しました。

これからのセミナーご案内

県内外の講師による多彩なセミナーです。
オンラインに加えて、対面でも開催していきます。ホームページ
やSNSで、ぜひチェックしてください！

◆ 男女共同参画の視点からの『人材育成セミナー』◆

セミナー名	開催日時	講 師	参加費	
～自分で自分を育てる 自信につなげる～ 自分との対話 セルフコーチング 【会場：新潟ユニゾンプラザ】	7月23日(土) 13:00～17:00	丸山 結香さん 経営コンサルタント リーダーシップコーチ	3,000 円	対面開催
文章カワークショップ 想いが通じる！言葉の表現力をつける	7月31日(日) 10:00～16:00	山田 ブーニーさん 文章表現・コミュニケーションインストラクター	5,000 円	オンライン開催
思いを伝える、人を動かす3つのスキル プレゼンテーションセミナー	8月27日(土) 13:00～17:00	岡村 美香さん (株) HRインスティテュート コンサルタント	3,000 円	
アサーティブ コミュニケーション講座 ～信頼関係の構築を目指す対話のスキル～	10月2日(日) 13:00～17:00	竹崎 かずみさん アサーティブジャパン専属講師	3,000 円	
～チームとメンバーの成長を促す～ コーチングの「フィードバック」基本編	10月29日(土) 10:00～16:00	丸山 結香さん 経営コンサルタント リーダーシップコーチ	5,000 円	対面開催

*この他にもマネジメント力や課題解決力を高めるセミナーや情報スキルを学ぶセミナーなどを開催していきます。ご期待ください。

*財団利用会員(年会費 3,000 円)になられると、参加費が各回 2,000 円割引されます。

社員の方の参加費が一定数無料になる企業法人会員制度もあります。社員研修にもご利用ください。詳しくはお問い合わせください。

◆ 働く女性のスキルアップ&交流会 ◆

情報発信スキルアップ！Instagram の活用&撮影セミナー

講 師：佐藤 康子さん グローカルマーケティング(株) コンサルタント

開催日時：9月3日(土) 13:30～15:30

会 場：新潟県女性センター女性団体交流室 2

対面開催
参加費無料



◆ 市町村の課題を取り上げる『地域セミナー』◆

開催日時	テーマ	会 場	講 師
7月30日(土)13:20～	コミュニケーション	小千谷市 サンラックおぢや	菊野 麻子さん フリーアナウンサー
8月24日(水)18:30～	アンコンシャスバイアス	妙高市 オンライン	西原 亜矢子さん 長岡技術科学大学特任講師
9月9日(金)15:00～	仕事と介護の両立	上越市 市民プラザ	朝日 由香さん 国家資格キャリアコンサルタント
10月1日(土)13:30～	LGBT 勉強会	佐渡市役所	井浦 綾香さん LGBTQ こころてにいがた代表
10月3日(月)15:00～	男性育休・家庭内の役割分担	柏崎市役所	高野 真規さん たかの社会保険労務士事務所
10月8日(土)10:00～	ダイバーシティマネジメント とコーチング	長岡市 まちなかキャンパス	丸山 結香さん 経営コンサルタント
① 10月15日(土) ② 11月20日(日)	こころと体の セルフケア	見附市 ネーブルみつ	① 森 真理さん ② 滝沢 裕子さん

会員情報



特定非営利活動法人

新潟県消費者協会

新潟県消費者協会は県下 16 団体で構成され、50 年以上にわたって性別・年齢を問わず、消費が社会や地球環境等によらず影響を意識し、持続可能で魅力ある消費者市民社会づくりに向け、**エシカル消費(※)の推進、消費生活に関する講演会開催**等の活動をおこなっています。また、県や市の審議会等に積極的に女性を委員として推薦しています。

消費者被害防止啓発をおこなうボランティア「**消費生活サポーター**（県内約 230 人登録）」を養成し、自治会等の会合への講師派遣や情報提供などの啓発活動をしています。今後は、生活に欠かせないものとなった、オンライン（ICT）の活用推進にも取り組む予定です。



エシカル消費勉強会の様子



※エシカル消費

人・社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。国連の持続可能な開発目標(SDGs)に関連する取り組みです。

サポーターちらしと会報誌

【お問合せ先】

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2
新潟ユニゾンプラザ1F
TEL&FAX025-281-5558
<http://www.nsyokyo.org/>



ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)

になりませんか！

新潟県では、男女が共に働きやすく、女性の育成・登用に積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業(新潟県男女共同参画推進企業)」として登録・認定し、その取組を支援しています。

今年度から県の支援制度も拡充され、人材確保、企業PRにもつながります。この機会にハッピー・パートナー企業への登録を検討されてみてはいかがでしょうか。

【登録企業のメリット（主なもの）】

- ・男性育休取得、妊娠・出産・子育て休暇に対する助成金 ※
- ・従業員向け金融商品の優遇(教育ローン・マイカーローン等) ※
- ・県における物品の優先調達
- ・建設工事入札加点
- ・各種情報（制度、セミナー）の提供
- ・求人活動におけるPR
- ・ハッピー・パートナー企業交流会議への参加 など

※ 基本登録に加え、
パパ・ママ子育て応援プラス認定の取得が必要です。

お申込みや応募方法等のお問い合わせは
新潟県女性財団でお受けしています(県委託業務)
電話：025-285-6610
メール：ngt.happy-p@npwf.jp
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seisaku/1208106072710.html>



編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2
新潟ユニゾンプラザ 2 階/新潟県女性センター



HP



FB



twitter

- 電話 025-285-6610
- fax 025-285-6630
- メール npwf@npwf.jp
- ホームページ <https://npwf.jp>
- Facebook 新潟県女性財団
- twitter @npwfniigata

【編集後記】 子どもの予防接種のため、数年前に小児科を訪れた際、お子さんを連れたパパさん達が非常に多かった事に、10年前とは違う嬉しい(羨ましい?)驚きを感じました。今後も育児休業法も改定があり、ますます育児に積極的に参加されるパパ達が増えてくることでしょう。今後もこの良い変化に期待したいです。(AK)

新潟県 女性のための相談窓口
N2 にいがた Ribbon net

リボンネットをご利用ください

「にいがた Ribbon net」では、様々な不安や悩みを抱える女性を支援する相談窓口などの情報を掲載しています。

孤独や孤立、離職や経済的な困窮、性暴力やDV（配偶者暴力）による被害、子育てに関する悩み……。ここでは公的な相談機関やNPO法人など、様々な相談・支援窓口を紹介しています。

右のQRコードから自分に合った相談窓口をご利用ください。（また、女性財団のホームページ“Ribbon net”のバナーから入れます。）

メールや電話、LINEなど、あなたが話しやすい窓口から、困っていること教えてください。あなたを支えてくれる人が見つかるはずです。

あなたと一緒に考えたい
困っていること、
ありませんか



にいがた Ribbon net リーフレット



←各種相談窓口は
こちらから

新潟県男女平等推進相談室のご案内

2つの相談方法がございますので
ご利用しやすい方法でお気軽にご相談ください

こんなことで悩んだり
困っていませんか…

夫婦・男女関係について

- ・結婚、別居、離婚などの悩み
- ・交際相手とうまくいかない
- ・パートナーへの不満
- ・婚外関係についての悩み など

家族・対人関係について

- ・子どもが言うことを聞かない
- ・親とうまくいかない
- ・友人とのトラブル
- ・親族、近隣とのコミュニケーション
- ・育児や介護のストレス など

家庭生活・生き方について

- ・男女の役割についての不満
- ・生きがいを見つけない
- ・老後や生き方についての悩み
- ・金銭的な不安 など

健康・からだについて

- ・妊娠、不妊についての悩み
- ・健康への不安
- ・ところが不安定で落ち着かない
- ・性についての悩み など

仕事・働くことについて

- ・仕事とうまくいかない
- ・労働条件の不満
- ・職場の人間関係がうまくいかない
- ・セクハラ、パワハラ など

さまざまな暴力について

- ・配偶者間、家族間、男女間の暴力（身体的、心理的、経済的 等）
- ・高齢者への暴力的な扱い
- ・いじめや虐待 など

① 専任相談員による電話相談

TEL/025-285-6605

② 専任相談員による来所相談

（原則予約制）

お電話でのご予約

TEL/025-285-6605

FAX またはメールでのご予約

FAX/025-285-6612

メール/soudan@minos.ocn.ne.jp

相談は無料です
秘密は固く
守られます

※専任の相談員が相談をお受けします
※悩みの解決に向けてアドバイスや情報を提供します
※必要に応じて、関係機関等をご案内します

新潟県男女平等推進相談室

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2
新潟ユニゾンプラザ3階



【相談時間】

月～金曜日/11:00～12:30

13:40～17:30

土曜日/10:00～12:30

13:40～16:30

※12:30～13:40は受付休止

※日曜日、祝日、

12月29日～1月3日はお休みです。

令和3年度 新潟県女性財団の事業及び決算についてご報告します。

◆ 主な事業の実施状況 ◆

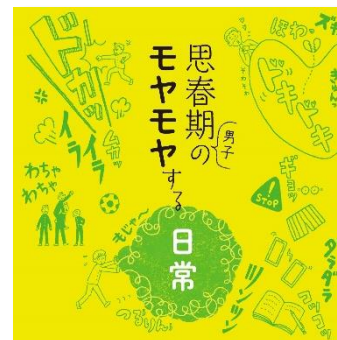
研修事業では、新型コロナウイルスの感染が終息しないなか、オンライン開催や感染防止対策を徹底した上でのリアル開催、オンラインとの併用方式など、状況に応じてセミナーを開催しました。また、新たに相談・支援窓口を紹介するwebサイト「女性のための相談窓口(にいがた Ribbon net)」を開設するなど、様々な困難を抱える女性に対する支援事業(女性のつながりサポート)を実施しました。

(1) 情報事業

- ホームページ、SNS等による情報の提供
- 啓発誌 ぶっくばらんす 4号 「思春期男子のモヤモヤする日常」(5,000部)
- 機関紙 「新潟県女性センター情報」 年4回×2,000部

(2) 研修事業 (合計57講座、参加817人)

- 男女共同参画の視点からの「人材育成セミナー」(12講座)
- 企業等の男女共同参画や女性活躍を支援するセミナー(10講座)
- 女性の再就業や育休後の職場復帰を支援するセミナー(9講座)
- 現代的な課題を考える「女性センター講座」等(10講座)
- 地域の課題を取り上げる「地域セミナー」等(16講座)



(3) 支援・交流事業

- にいがた女と男(ひととひと)フェスティバル2021
(基調講演)坂東 眞理子さん「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)を越えて」と20のワークショップ
- 企業等における女性活躍の取組支援(働く女性交流会など6講座)
- 女性に対する暴力をなくす運動(ユニゾンプラザ・パープル・ライトアップ等)
- 様々な困難を抱える女性を支援する「女性のつながりサポート事業」(相談窓口の周知、NPO等との連携、女性用品の配付等)

(4) 新潟県女性センター(女性団体交流室等)の貸出

◆ 決算の状況 ◆

(正味財産増減計算書)

(貸借対照表) 令和4年3月31日現在

			令和３年度 a	令和２年度 b	増減額 a-b
経常収益	県補助金		26,297,000	27,297,000	△ 1,000,000
	自主財源	事業受託収益	8,903,000	935,000	7,968,000
		基本財産利息	922,488	1,030,474	△ 107,986
		会員会費	1,513,000	1,342,000	171,000
		事業収益（受講料等）	519,200	513,900	5,300
		事業収益（施設収入）	1,458,320	1,182,250	276,070
		その他	182,952	35,152	147,800
		計	13,498,960	5,038,776	8,460,184
	経常収益計 A		39,795,960	32,335,776	7,460,184
経常費用	公益事業	情報事業（公１）	6,904,271	7,333,820	△ 429,549
		研修事業（公２）	9,511,312	8,575,250	936,062
		支援・交流（公３）	14,972,336	8,463,038	6,509,298
		共通事業費	5,247,375	5,300,417	△ 53,042
		計	36,635,294	29,672,525	6,962,769
	施設貸与事業		1,444,888	1,145,039	299,849
	管理費（法人会計）		818,582	664,849	153,733
	経常費用計 B		38,898,764	31,482,413	7,416,351
		内 人件費	19,901,527	20,184,441	△ 282,914
	内 事業費	18,997,237	11,297,972	7,699,265	
経常増減額 A-B			897,196	853,363	43,833

			(単位：円)
科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,273,388	2,191,508	1,081,880
未収金	2,191,492	990,752	1,200,740
前払金	169,425	166,249	3,176
合 計	5,634,305	3,348,509	2,285,796
2. 固定資産			
基本財産	116,112,763	116,072,071	40,692
自主事業積立資産	5,200,000	5,200,000	0
その他固定資産合計	171,934	70,000	101,934
合 計	121,484,697	121,342,071	142,626
資産合計	127,119,002	124,690,580	2,428,422
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,506,864	906,153	1,600,711
前受会費	318,000	417,000	△ 99,000
預り金	281,740	292,917	△ 11,177
合 計	3,106,604	1,616,070	1,490,534
2. 固定負債			
負債合計	3,106,604	1,616,070	1,490,534
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	116,112,763	116,072,071	40,692
(うち基本財産への充当額)	(116,112,763)	(116,072,071)	(40,692)
2. 一般正味財産	7,899,635	7,002,439	897,196
(うち特定資産への充当額)	(5,200,000)	(5,200,000)	(0)
正味財産合計	124,012,398	123,074,510	937,888
負債及び正味財産合計	127,119,002	124,690,580	2,428,422